

研修報告書No. 1 7

研修先： 本山町立国民健康保険病院嶺北中央病院

高知県での地域医療研修を終えて

私は初期研修 2 年目の 1 月に、高知県長岡郡本山町の嶺北中央病院と、周辺地域のいくつかの診療所で地域医療研修を行った。

嶺北中央病院は病床数 131 の地域の基幹病院であるが、私が 1 年目に初期研修を行った関東地方内の地域の基幹病院と比較して感じたのは、患者さんの年齢層の違いである。入院患者さんの多くは 80 歳以上の方々であり、高い高齢化率(本山町 41.0%、全国平均 24.1% (2012 年))が示す通りもともとの人口分布に起因するものと考えられる。また、地域の基幹病院であるため急性期の患者さんの診療にも携わる中で、特に医療型療養病床には長期入院されている患者さんが多かった。それまでに私が研修を行っていた病院では、急性期の治療が終わった段階で引き続き入院加療が必要な場合は「療養型病院」への転院が行われることが多かったが、それは人口の比較的多い地域で病院ごとの役割分担が必要であるからだということがわかった。嶺北中央病院は急性期治療に加え療養の役割も併せ持っており、そのようなへき地医療の側面を新たに経験することができた。また、診療所や在宅医療の見学では、医療サービスの提供のしかたが首都圏とは大きく異なることを知ることができた。

嶺北中央病院での研修では、それまでも多く経験していた入院患者さんの診療にとどまらず、各科外来の見学、手術、内視鏡検査などの処置、デイケアなど様々な形で医療に関わることができた。医学の側面でも、毎週開催される抄読会で最新の研究や知見を知る機会を得ることができて良かった。

1 ヶ月という短い期間ではあったが、地域の雰囲気や文化も含めて、新たに得られたものが非常に多く、今後も医療に従事する上で貴重な経験となった。嶺北中央病院を中心としてお世話になった方々に感謝しております。ありがとうございました。